

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚悪性腫瘍	
	タイプ	メラノーマ	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Naevi and pigmentary characteristics as risk factors for melanoma in a high-risk population: A case-control study in New South Wales, Australia	
	論文の日本語タイトル	ハイリスク住民におけるメラノーマ発生の危険因子としての母斑と皮膚色の特徴：オーストラリア、ニューサウスウェールズにおける症例対照研究	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MM-CQ2-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID	8759605	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	67	
	号	4	
	ページ	485-91	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1996 Aug	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Grulich AE	Dept. of Public Health, Univ. of Sydney, Australia
	その他著者 1	Bataille V	St. Georges Hospital, London, UK
	その他著者 2	Swerdlow AJ	London School of Hygiene, London, UK
	その他著者 3	Newton-Bishop JA	Royal London Hospital Medical College, London, UK
	その他著者 4	Cuzick J	Imperial Cancer Research Fund, UK
	その他著者 5	Hersey P	Royal Newcastle Hospital, Sydney, Australia
	その他著者 6	McCarthy WH	Royal Prince Alfred Hospital, Sydney, Australia

	その他著者 7		
--	---------	--	--

一次研究の 8 項目	目的	メラノーマ多発地域の白人におけるメラノーマ発生危険因子としての母斑の個数と皮膚色の評価	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	Sydney および Newcastle のメラノーマ専門外来	
	対象者	1989-1993 年のメラノーマ患者 244 人、対照 276 人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （2）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （14）	
	介入（要因曝露）	母斑の個数の計測、日光曝露への皮膚の反応パターンの評価	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	全身の 2mm 以上の母斑の個数とメラノーマリスク	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2	Atypical nevus とメラノーマリスク	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	3	日光曝露による sun-tan の有無とメラノーマリスク	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	1) 母斑が 100 個以上の者は 10 個未満の者に比べ、メラノーマの発生リスクが 12 倍に上がった。 2) 多発性 atypical nevus, 多発性の大型母斑、sun-tan 能の欠如などもメラノーマ発生の強い危険因子であった(Odds ratio が 5 以上)。 3) 男女別にみた母斑の身体分布はメラノーマの分布と類似し、背中のメラノーマは背中の母斑の数の多さと有意に相関した。	
	結論	母斑の個数、分布、sun-tan 能はメラノーマ発生に有意に相関する。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	斎田俊明	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） メラノーマ多発地域の白人において母斑の個数、sun-tan 能がメラノーマ発生の有意な危険因子であることを示した論文。	

